

国際成人力調査

「成人力」調査、日本1位

読解・数的思考力トップ

経済協力開発機構（OECD）は8日、主に先進国の24カ国・地域で2011～12年に初めて実施した国際成人力調査（PIAAC）の結果を発表した。日本は、出題された3分野のうち2分野で参加国中1位の好成績だった。文部科学省は「学校や職場など社会の教育機能の高さが反映されている」とみている。▼36面



国際成人力調査

OECD加盟22カ国・地域と非加盟2カ国で無作為抽出された16～65歳の計約15万7千人が参加し、日本では5173人が回答。社

で参加国中1位。分野別の成績（500点満点）は、読解力296点（OECD 22カ国・地域の平均273点）、数的思考力288点（同269点）だった。

会生活で求められる能力の習熟度測定を目的としている。読解力▽数的思考力▽ITを活用した問題解決能力―の3分野のうち、能力などに応じて、1～2分野で20～46問に答えた。

IT（情報技術）を活用した問題解決能力について、OECDは成績中上位者の割合を国別で公表しており、日本は35%（同34%）で10位。パソコンではなく紙の調査を選んだ人が全体の37%（同24%）に上った影響という。パソコン

による調査を受けた人に限って国別平均点を文科省が独自算出したところ、日本は294点（同283点）で1位だった。

「日本の義務教育は生活に必要な基本的能力を重視している。それが、OECDが『成人力』とみる要素と合致していた」と文科省の担当者は分析する。

国別の平均点をみると、日本は読解力と数的思考力

（岡雄一郎）

10日付教育面に問題例などを掲載します。

各分野の順位

読解力	1	日本
	2	フィンランド
	3	オランダ
	4	豪州
	5	スウェーデン

数的思考力	1	日本
	2	フィンランド
	3	ベルギー
	4	オランダ
	5	スウェーデン

ITによる解決能力	1	スウェーデン
	2	フィンランド
	3	オランダ
	4	ノルウェー
	5	デンマーク
	10	日本